

「一般高齢者調査のねらい」に関する庁内アンケートの検討結果

1-① 一般高齢者<基本>調査		
見出し	平成25年度のねらい	平成28年度のねらい(案)
1. ご本人のこと	回答者の基本属性を把握する。	事務局【検討】
	高齢者の社会的な孤立の状況を把握する。	
	就労の状況や意欲を把握する。	
	収入源を把握する。	
	暮らし向きを把握する。	
	世帯の年間収入を把握する。	
2. 健康状態	健康状態を把握する。	
3. 住まいのこと	住まいの状況を把握するとともに、住まいでの不便などから課題を探る。	都市計画部住宅課【変更】 ○高齢者の住まいの状況を把握する手掛かりとする。
4. 日ごろの生活	高齢者の心身機能を点数化して評価し、高齢者の活動能力を把握する。	福祉部高齢者福祉課【変更】 ○地域の担い手に関する意識（地域の担い手となるための課題）を把握する。
	外出回数や外出に際して不便に感じることを把握する。	
	日常生活における困りごとや地域とのつながりに関する意識を把握する。	
5. 介護予防	介護予防への関心や区が実施している介護予防教室への参加意向を把握する。	福祉部高齢者福祉課【継続】
6. 介護保険制度	保険サービスと保険料の負担についての考えを把握する。	福祉部介護保険課【継続】
7. 権利擁護	成年後見制度の認知度や区の成年後見センターの認知度と利用意向を把握する。	福祉部地域福祉課【変更】 ○地域福祉権利擁護事業の認知度や利用意向を把握する。
8. 緊急時の避難など	安心して生活を送るために、防災は重要な視点であることから、区の制度の周知を図るとともに、災害発生時の意識等を把握する。	福祉部地域福祉課【変更】 ○災害発生直後から沈静化するまでの一定期間に区内高齢者等と接点がある主体（関係する者や組織、機関）として、何が存在するのか。また、二次（福祉）避難所の新たな展開として期待される事項を把握する。
9. 健康・福祉サービスの情報や相談窓口	健康や福祉サービスに関する情報入手手段を把握する。	福祉部高齢者福祉課【継続】

1-② 一般高齢者<重点>調査

見出し	平成25年度のねらい	平成28年度のねらい(案)
1. ご本人のこと	回答者の基本属性を把握する。 高齢者の社会的な孤立の状況を把握する。 就労の状況や意欲を把握する。 収入源を把握する。 暮らし向きを把握する。 世帯の年間収入を把握する。	事務局【検討】
2. 健康状態	健康状態を把握する。 かかりつけ医やかかりつけ歯科医に関する状況把握とともに普及・啓発を図る。	健康部健康推進課【変更】 ○健康意識を把握し、高齢期の健康課題を把握する。 ○生涯にわたり歯や口の健康を維持するために、かかりつけ歯科医の周知と口腔機能について把握する。
3. いきがいづくりや社会参加	興味のある地域活動やボランティア活動など参加の有無等を把握する。	福祉部高齢者福祉課【変更】 ○地域の担い手に関する意識を把握する。 福祉部地域福祉課【新規】 ○高齢者の就業等の支援として、就労機会の拡大に向けた調査（就労意向、希望職種、勤務時間、報酬など）
4. 介護や医療が必要になったときのこと	介護経験の有無や保険外サービスの利用度等について把握する。	健康部健康推進課【変更】 ○在宅療養の意向と実現性、その理由を把握する。 福祉部高齢者福祉課【変更】 ○利用している介護保険外の福祉サービス【要支援・要介護認定者調査へ移動】
5. 緩和医療・ケア	緩和医療・ケアの認知度や利用意向について把握する。	健康部健康推進課【継続】
6. 看取り	自身の最期の意向について把握する	健康部健康推進課【変更】 ○自身の「人生の最終段階」と「看取り」についての意向と認識を把握するとともに、啓発を図る。 ○「看取り」を行う上での不安を把握する。
7. 認知症	回答者の認知症の進行度を把握する。	福祉部高齢者福祉課【追加】 ○認知症機能障害程度を把握する。 ○認知症の早期発見・早期診断に対する認識を把握する。 ○本人・家族が認知症になった時に、必要と考えることは何かを把握する。